

岩手県感染症週報

平成16年第15週（4月5日～4月11日）

岩手県結核 感染症情報センター

第15週の概要

- 1類感染症
- 2類感染症
- 3類感染症
- 4類感染症

患者発生の報告はありませんでした。

5類感染症（全数把握対象疾患）

- ・患者発生の報告はありませんでした。

5類感染症（定点把握対象疾患）

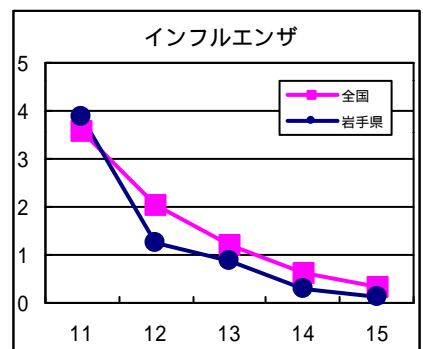
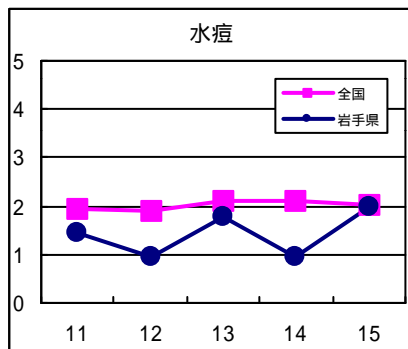
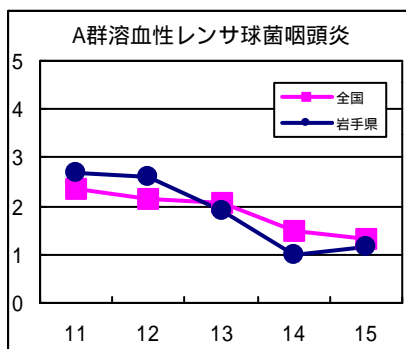
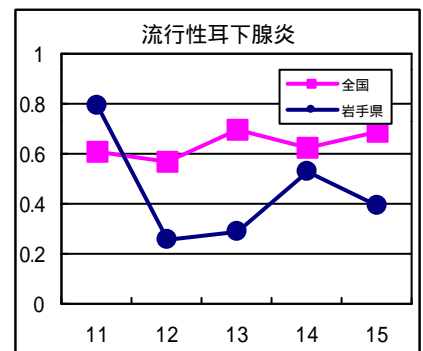
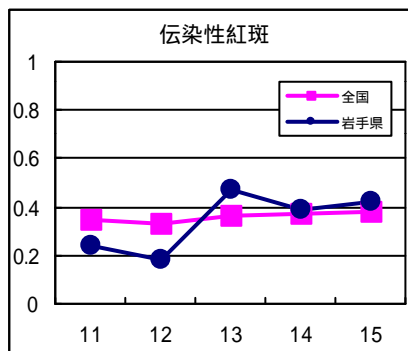
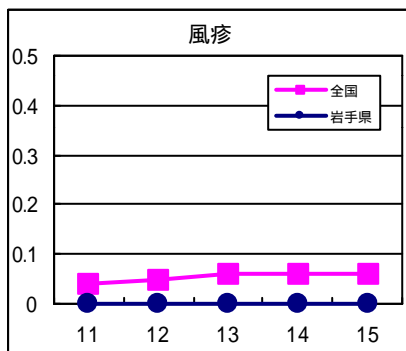
・風しんはここ数週、本県では患者発生の報告はありませんが、全国的には今年に入ってから各地で患者数が増加しています。現在、特に患者数が多い県は、宮城県、群馬県、埼玉県、大分県、鹿児島県などです。

風しんは、免疫のない女性が妊娠初期に罹患すると、風しんウイルスが胎児に感染して出生児に先天性心疾患、難聴、白内障などの先天性風しん症候群を引き起こすことがあります。今年に入って全国ではすでに2例の患者発生の報告がありました。風しんはワクチンによって予防できる疾患なので、定期接種対象の幼児だけではなく、これまで接種率の低かった中学生以上の年齢層、免疫のない女性の人達が積極的に予防接種を受けることが大切です。

- ・水痘は盛岡地区で患者数が増加しました。
- ・伝染性紅斑は、依然として盛岡地区で患者数が多くなっています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		11	12	13	14	15		
インフルエンザ	岩手県	3.89	1.23	0.89	0.31	0.13	↘	
	全国	3.6	2.04	1.19	0.63	0.35		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0.05	0.03	0.05	0.05	→	
	全国	0.26	0.24	0.27	0.27	0.25		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.68	2.61	1.89	1	1.16	→	
	全国	2.35	2.15	2.07	1.48	1.34		
感染性胃腸炎	岩手県	4.16	3.87	2.61	2.34	2.58	→	
	全国	10.39	9.54	9.12	7.24	6.65		
水痘	岩手県	1.45	0.95	1.79	0.95	2	→	
	全国	1.95	1.91	2.12	2.1	2.01		
手足口病	岩手県	0.03	0	0.03	0	0	→	
	全国	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05		
伝染性紅斑	岩手県	0.24	0.18	0.47	0.39	0.42	→	
	全国	0.35	0.33	0.36	0.37	0.38		
突発性発疹	岩手県	0.79	0.26	0.42	0.66	0.53	→	
	全国	0.63	0.57	0.66	0.69	0.71		
百日咳	岩手県	0.03	0	0.03	0	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.05	0.06	0.06	0.06		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.03	0.21	0.11	0.18	→	
	全国	0.03	0.03	0.04	0.05	0.05		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.05	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.79	0.26	0.29	0.53	0.39	→	
	全国	0.61	0.57	0.7	0.62	0.69		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0.25	0	↘	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.25	1.25	1	0.42	0.58	→	
	全国	0.88	0.81	0.93	0.86	0.86		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	98	76	76				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.03	0.02	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.35	0.2	0.05	0	0.1	→	
	全国	0.16	0.18	0.14	0.12	0.11		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ：患者が発生しています
- ：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ：多くの地区で警報値を超えています

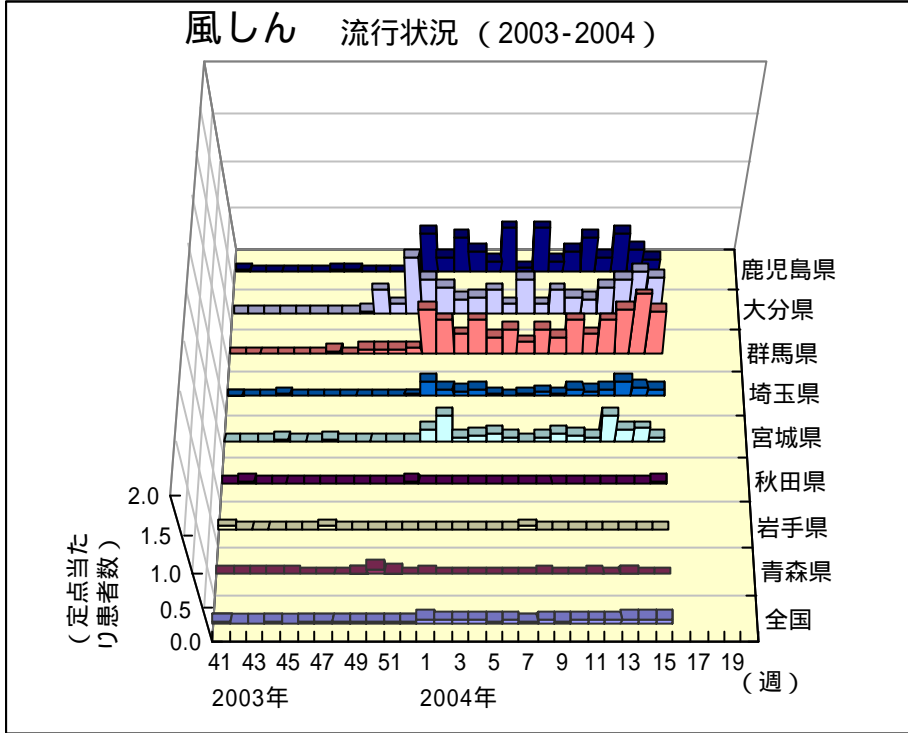
全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 11	12	13	14	15	累計	15	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	7	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	7	101	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	3	9	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	2	8	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	24	134	
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	7	154	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	9	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	6	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	4	66	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	2	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	46	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	14	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	8	246	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	18	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	8	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	2	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	1	52	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	6	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	1	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	0	8	124	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	12	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	11	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	16	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	1		
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	25		
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

風しん

風しんはほぼ10年ぶりの流行が続いています。妊娠初期の女性が感染すると、先天性風しん症候群を引き起こすことがあるため、ワクチンによる予防が重要です。



全国的には、年未年始時期から群馬県、大分県、鹿児島県などで患者数が増加し始め、現在でもこれらの地域で最も患者数が多くなっています。

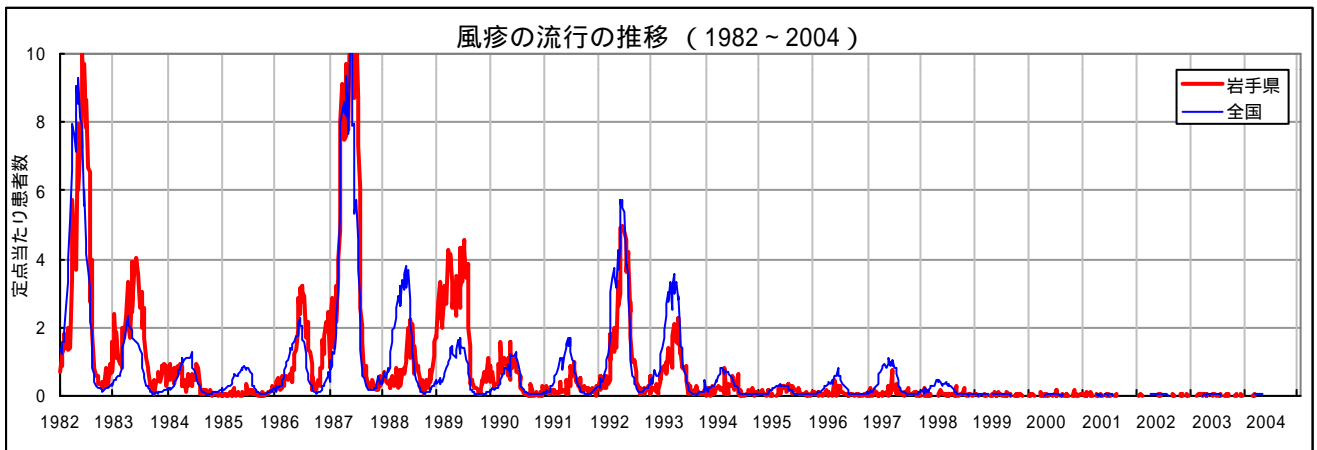
青森、秋田、岩手の北東北3県では、これまで散発例はあったものの目立った動きはありませんでした。宮城県ではここ数週患者が多くなっています。今後の東北地方の動きが注目されます。

過去の風しんの流行の推移をみると、10年ほど前まではほぼ毎年流行を繰り返してきましたが、1994年の予防接種法改正以降患者数は少なくなってきました。

2003年9月まで風しん予防接種の経過措置がとられてきましたが、定期接種である幼児の接種率と比べて経過措置対象の年齢層の接種率は低く、12歳女子における風しん抗体陽性率は52%にすぎません（IDWR第3巻29号10）。

患者の年齢層は、本年は昨年に比べて学童期や20歳以上の割合が高く、また、風しんの患者発生報告は小児科定点からの報告であるため、成人の患者はさらに多い可能性があります。

今後、流行状況をよく把握し、適切な対策をとっていくことが必要です。



病原体検出情報

- ・溶レン菌咽頭炎の患者の咽頭拭い液から A 群溶血性レンサ球菌を 8 例分離検出しました。
- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液から A 香港型インフルエンザウイルスを 1 例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便から ノロウイルス遺伝子型 I を 1 例、同ウイルス遺伝子型 II を 1 例、A 群ロタウイルスを 1 例検出しました。

集団感染情報

- ・この週には集団感染の情報はありません。

医療機関からの情報

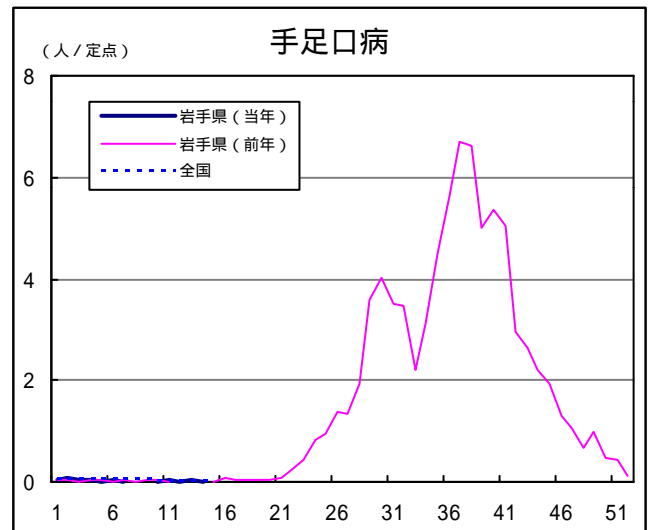
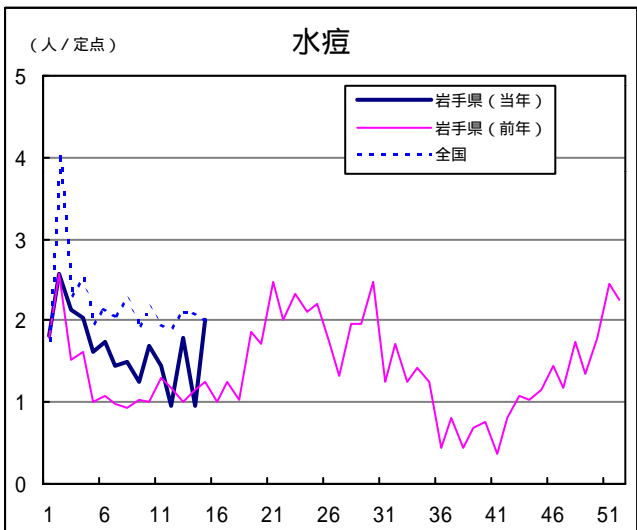
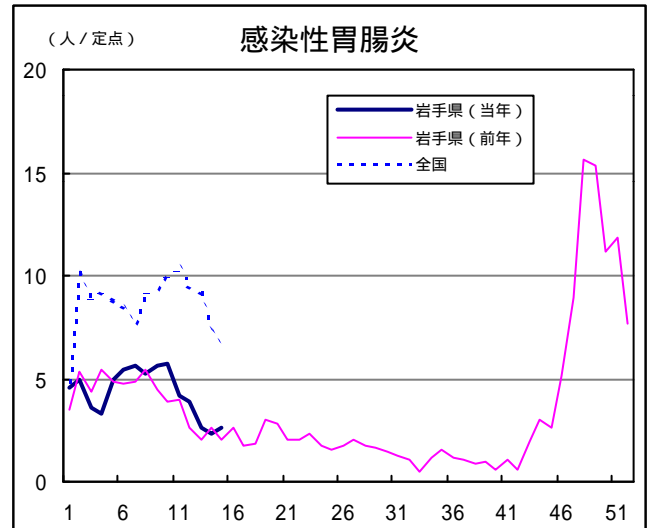
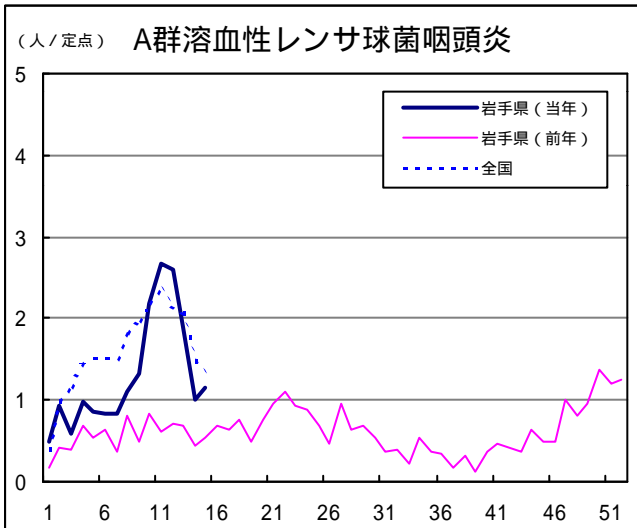
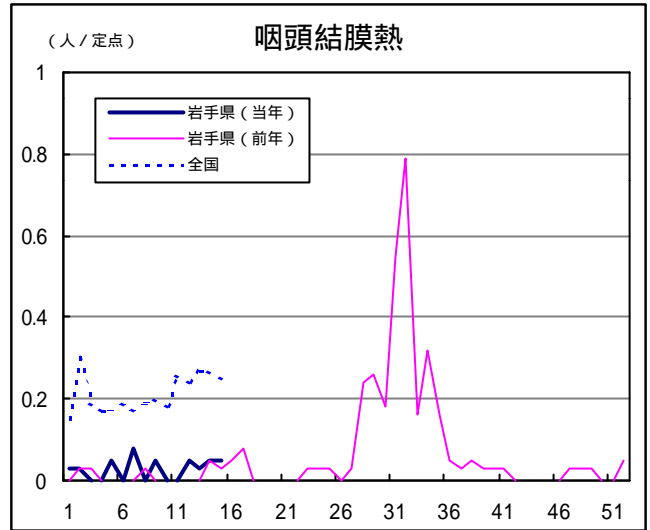
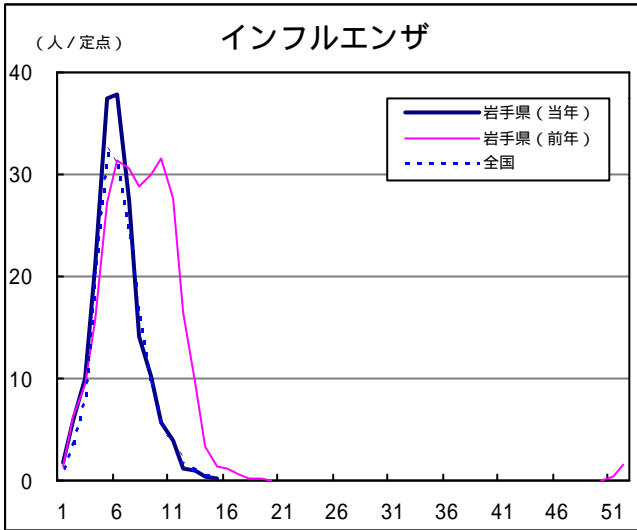
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

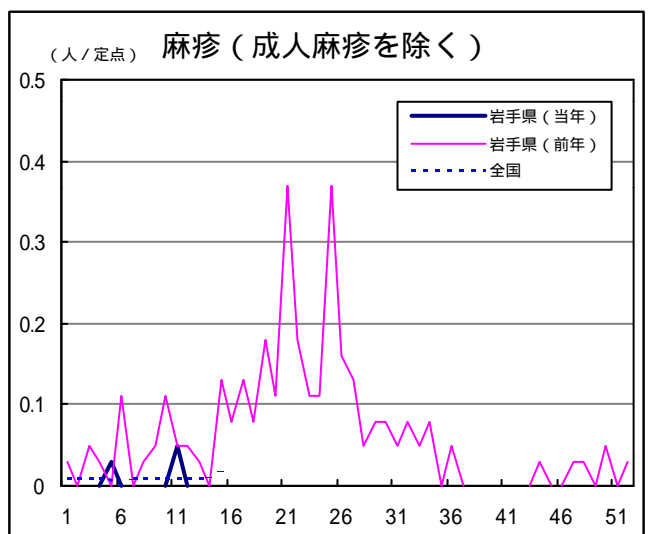
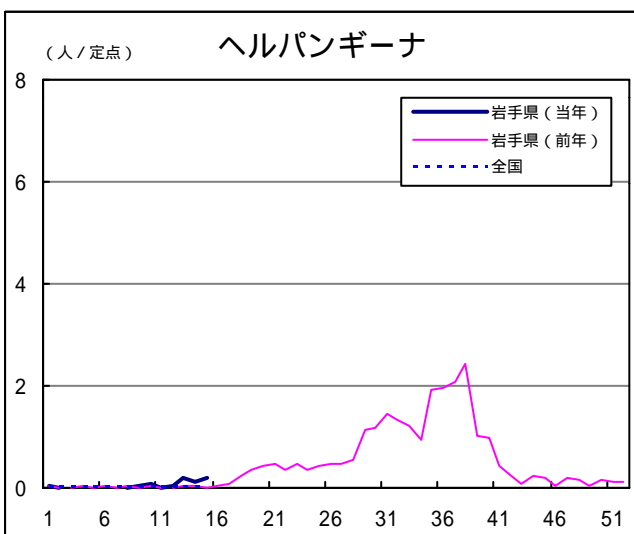
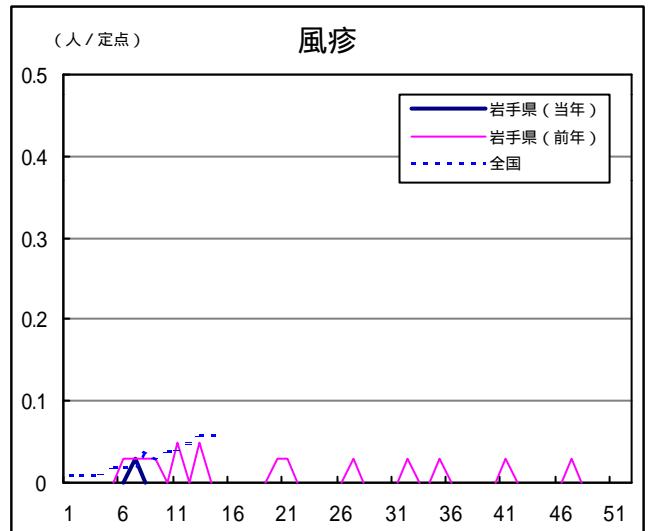
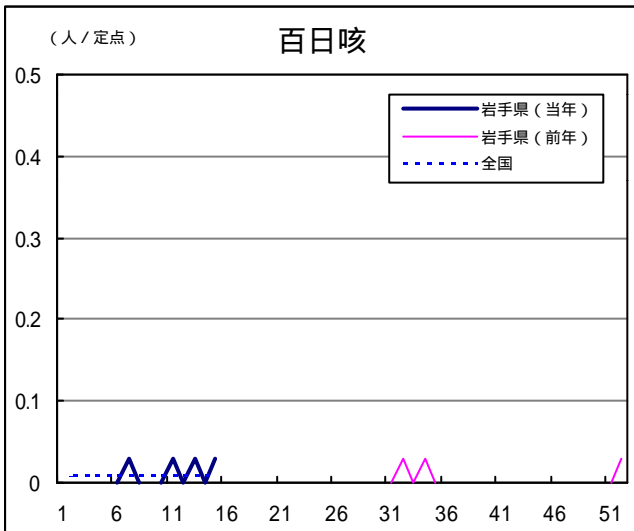
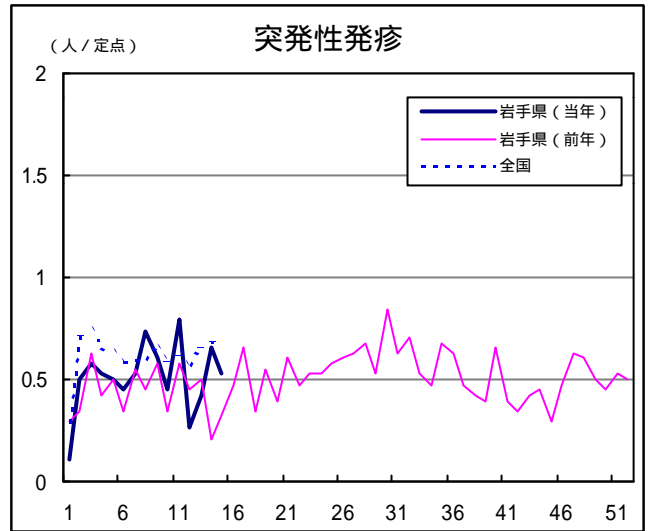
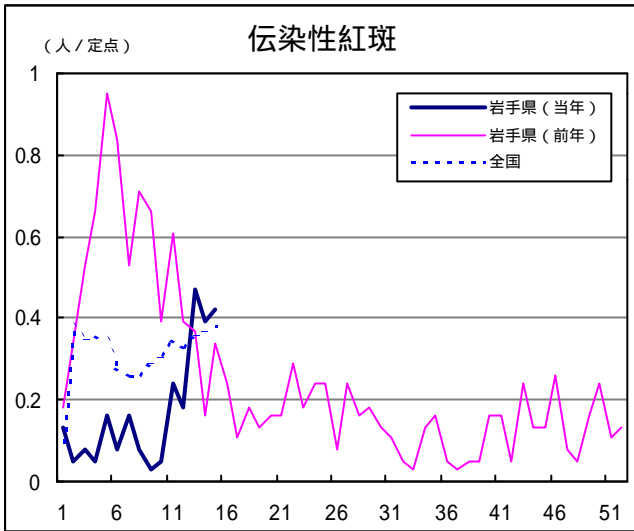
Q & A

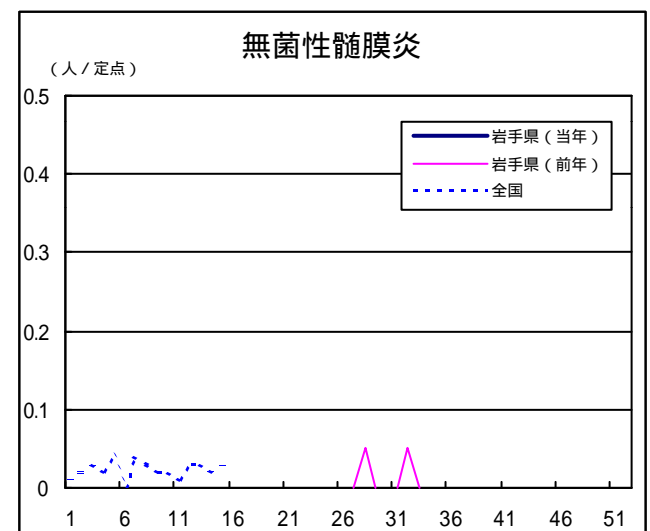
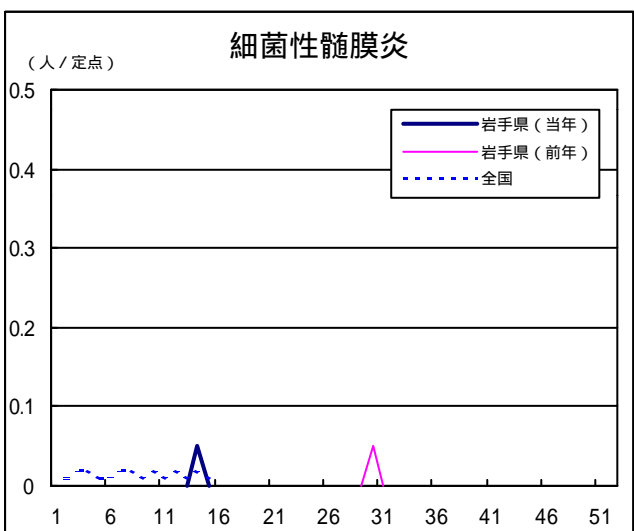
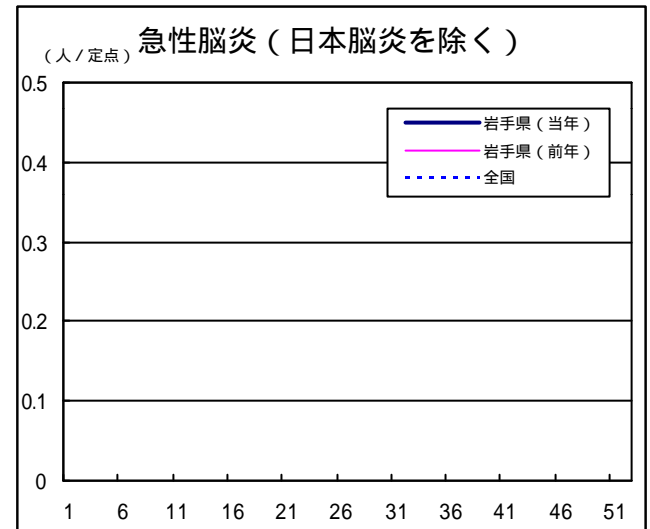
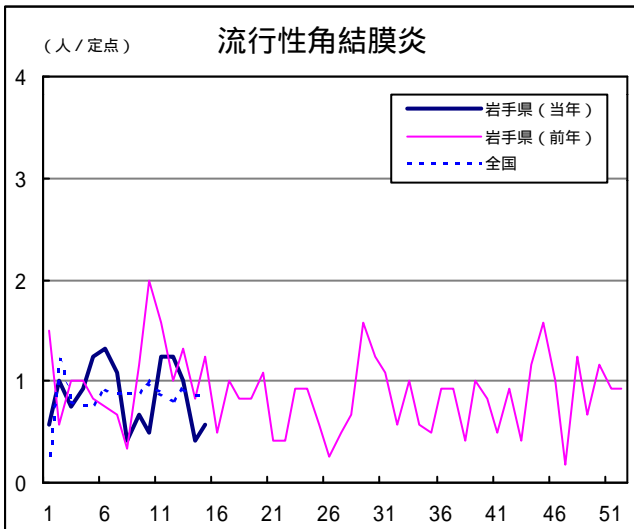
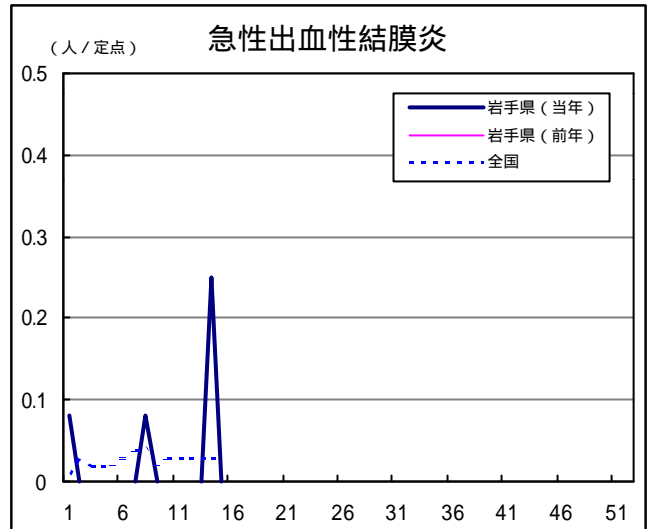
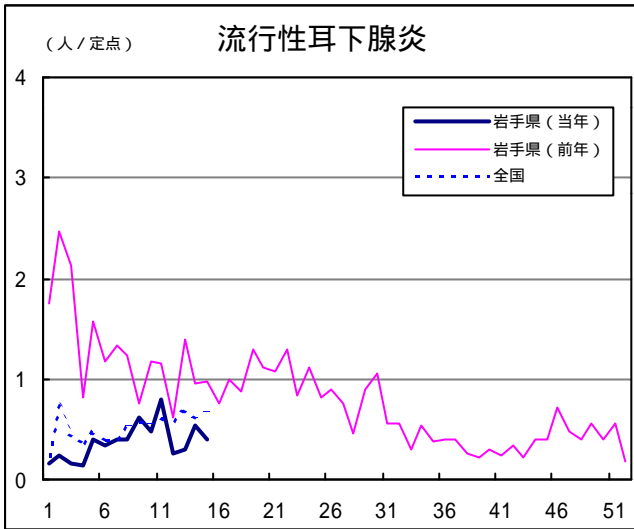
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

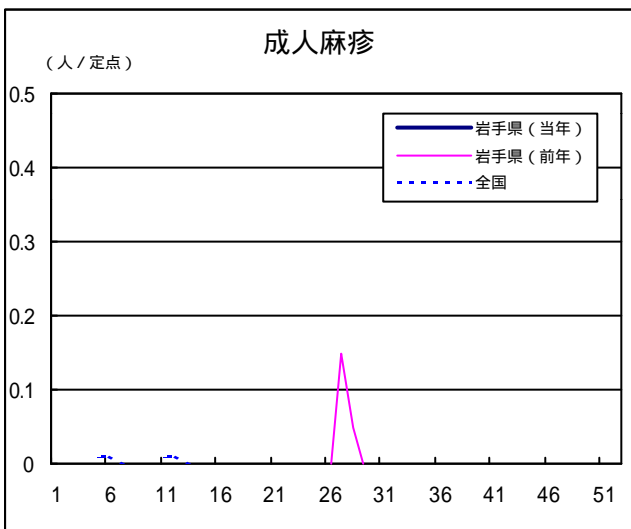
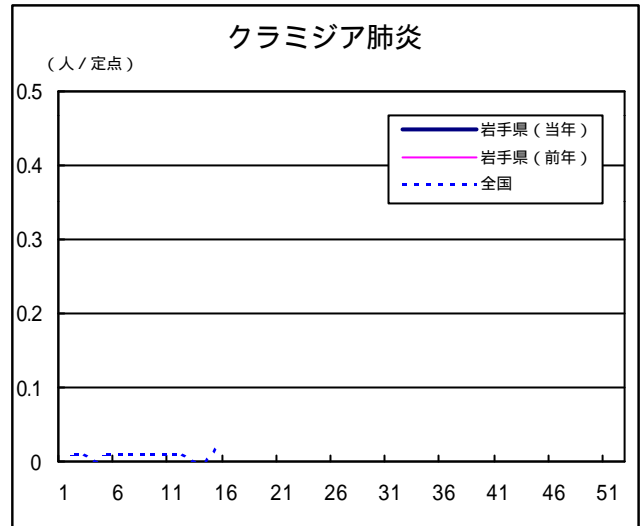
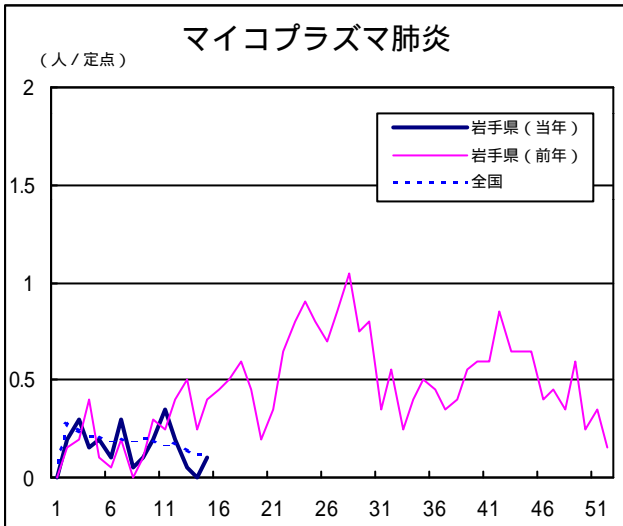
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成16年第15週 平成16年4月16日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail:CC0019@pref.iwate.jp
 URL : <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>